

## 担い手育成特定資産事業活用事例の紹介 高橋アキ子さん(あきちゃん農園)(北上市)

執筆者名 中部農業改良普及センター 畠山隆幸

北上市岩崎新田で平成31年4月からピーマンの栽培を開始した新規就農者の高橋アキさんを紹介します。

高橋さんは父が所有する農地を活用しようと、「あきちゃん農園」を開園しました。

露地ピーマン(トンネル栽培)20aで栽培を開始し、初年日から目標収量を達成することができました。

その後、令和2年には30a、更に今年は50aへと作付面積を拡大しています。

順調に規模を拡大してきたところですが、労働生産性を高めるための機械化と労働力確保が課題として見え始めました。

そこで、令和3年に岩手県農業公社の担い手育成特定資産事業を活用し、肥料散布機(グランドソウー)、草刈り機(プチもあ)を取得し、さらに動力散布機、マルチスプレーヤーを修繕して栽培管理の効率化に取り組みました。

将来的には出荷調製機の導入も視野に入れ、更なる規模拡大を模索しています。

また、労働力の確保対策として、SNSを活用した情報の発信に取り組み、現在は、Instagram等を用いたパート募集を行っているほか、吉本新喜劇・吉本住みます芸人のよこっちピーマンさん(旧名:横地真平)を雇用し、あきちゃん農園の情報発信に努めています。

実際にSNSを通じてパート雇用につながった方もおり、農業においても情報発信の大切さを実感しているところです。

ぜひ、皆さんもSNSを通じてあきちゃん農園の活躍をご確認ください。Instagramは「あきちゃん農園(akichan\_nouen)」、「よこっちピーマン(213crips)」で検索できます。



しっかりと管理されたピーマン圃場の  
前で(左から2番目)



農薬散布で活躍するマルチスプレーヤー